

いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報 い ず み 第66号

発行／いずみ会 編集／いずみ会会報部
 〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内
 事務所 東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号
 ホームページ <http://www.izumikai.com/> e-Mail izumikai@v7.com



主 な 記 事

- 2・3 評議員会
- 4～7 母校
- 8～11 緑蔭
- 12 ホームページ投稿記事
- 13 会計から・寄付者一覧
- 14 声・訃報
- 15 お知らせ
- 16 総会案内

「笑顔でつながります」

会長 荒井 眞理子



5月28日に3年ぶりに対面での評議員会が開かれ、新役員が選任されました。19人の個性が集結！全員の笑顔の如く、明るく元気に活動を始めました。コロナ禍もいまだ収束を見ず、まだまだ油断できない状態が続いていずみ会の活動にも不安がよぎりますが、感染対策を慎重にして「会員相互の親睦」「母校支援」を柱に可能な限り活動を進めてまいります。また、会員の身近なつながりを、小さくても大切な「きっかけ」という認識で役員一同しっかりと心にとらえて活動していきたいと思ひます。

評議員会でも承認されました事業計画のうち「40歳の集い」は、同期の横のつながりを意識した試みです。同期会を開催している多くの期の初回がちょうど40歳前後だということもあります。なんとなく皆がどうしているかと気になる年齢ということでしょうか。今回は52期が該当いたしますが、ほかの期でも「やってみたい!」というお考えがありましたら遠慮なく申し出てください！大歓迎です。案内発送等はいずみ会がサポートいたします。参加者の多少よりも一度やってみることに意義があると考えます。先ず声をかけてみましょう。思いがけない出会いや喜びの輪が広がり、次へとつながっていくはずですよ。小さなつながりでもやがて大きな力となることをどうぞ意識の中に留めておいてください。

いずみ会は会社とか、地域社会とはまた違った居場所・ステージです。老若男女世代を超えて大泉という空気をいっぱい吸って巣立った共通観を持った人々の集まりです。このステージで新しい、楽しい体験をしませんか？活動へのお手伝いボランティアもお待ちしております。いずみ会はみんなの力で作り上げていくものです。いずみ会会員としてつながっていきましょう。

最後になりましたが、前期で理事を退任された岩崎誠さん（高18期）榎原猛夫さん（高18期）安岡章雅さん（高21期）ありがとうございました。

本年度総会

いずみ会総会、交流会（於 練馬区立勤労福祉会館）
 令和4年10月29日（土）13時30分より受付開始（詳細は16面をご覧ください）

●いずみ会からのお願い●

従来会報と共に返信用ハガキ等を「ゆうメール便」でお届けしていましたが、総務省による「信書の送達に関する指導」によって従来書式では同封することができなくなりました。

つきましては、お手数をお掛けしますが同封のハガキ裏面に下記事項をご記入いただき、10月15日（土）までにご投函をお願いします。なお、経費節減のため、HP内「返信ページ」、又は、e-mail (izumikai@v7.com) での返信をお願いします。

1. 返信ハガキ

裏面が白紙となっています。①総会への出欠、②人材バンクへの登録、③会報の読後感想、④住所変更等をご記入のうえご返送をお願いします。

2. 会費・ご寄付のゆうちょ銀行払込票

ゆうちょ銀行払込票に、皆様の会費納入実績等を印字することができなくなりました。お手数ですが、ゆうちょ銀行をご利用いただく場合には、払込票に①会費・寄付の区別、②ID・お名前をご記入いただくようお願いします。なお、従来印字していた会費納入実績等については、いずみ会までお問い合わせください。

評議員会報告

事務局長 山川 新

5月28日に3年ぶりに対面形式で令和4年度定時評議員会が練馬区民・産業プラザ研修室1で開催されました。各評議員に対しては、資料郵送による案内(277名)、メールによる案内(244名)で合計521名に開催案内を行いました。結果として、宛先不明で開催案内が戻ってきた評議員及び亡くなられた評議員合わせて5名の方を評議員数から減じ総数は516名となりました。期日までに返信のあった評議員は232名(出席予定者:37名、事前議決権行使者:102名、代理人に委任者:9名、議長に委任者:84名)であり、いずみ会規約13条に基づく定足数172を満たしている事が確認さ

れました。評議員会議長に田中昇次評議員(13期)が指名され、議事録署名人に井口和子評議員(20期)、清水蓮也評議員(69期)がそれぞれ承認されました。

第1号議案「令和3年度事業報告並びに収支決算報告」の報告があり、その後、監査役を代表して水野監査役からの監査報告を踏まえて審議され、賛成多数で議決されました。

第2号議案「令和4年度事業計画案及び予算案」について審議され、賛成多数で議決されました。

第3号議案「いずみ会規約の改正」の件については提示された改正案でいずみ会規約38条に基づき出席した評議員の3分の2

以上の議決があり承認されました。内容の表現については誤解が生じないように適切な表現への検討を継続する事としました。

第4号議案「いずみ会個人情報取扱規定の見直し」の件については提示された改正案で賛成多数で議決され「いずみ会個人情報取扱規程」として新たに制定されました。

第5号議案「いずみ会役員選任」の件については選出された役員候補者(会長1名、副会長3名、理事12名、監査役3名)の19名全員が役員に選任されました。

尚、審議事項ではありませんが総会後の懇親会幹事は引き続き「0の会」にお願いする事としました。

第1号議案 令和3年度 事業報告

「いずみ会」はいずみ会規約に沿って、令和3年度事業計画に従い次の事業を実施した。

第1. 定時評議員会

いずみ会の最高議決機関である定時評議員会を令和3年5月8日～31日に書面審議の形式で開催した。上程された第一号議案;令和2年度事業報告及び収支決算の承認の件、第二号議案;令和3年度事業計画案及び予算案承認の件、第三号議案;「いずみ会規約」改正の件のすべての議案が承認された。

第2. 理事会、監査会等の活動

令和3年度4月までの活動は、理事会を11回(内3回はZOOMによるオンライン会議形式)及び監査会を2回開催した。

第3. 活性化に向けての取り組み

本年度はコロナ禍の中で活性化につながる対面活動は全て実施できなかった。

第4. 会報の発行、広報活動の充実

1. 会報「いずみ第65号」を令和3年10月1日に発行、新しい会費納入基準に基づき発送した。
2. ホームページ(<http://www.izumikai.com/>)人材バンク部との連携によって多くの会員から投稿をいただき、従来よりも充実した情報発信ができた。

第5. 総会及びホームカミングデー

新型コロナウイルスの影響で開催を中止した。

第6. 財政管理

1. 支出は予算に対し1,247千円の減額となり、前年度比72%となった。
2. 入会金は母校の協力を得られ189名の新会員が納入した。
3. 収入は予算に対し727千円の減収となり、前年度比で78%となった。

第7. 会員情報の整備

「高校74期の名簿」を作成し、新会員へ配布した。

第8. 母校・PTAとの連携

1. 母校の発展に寄与するため、中学3年生対象の職業講話(講師6名)を本年2月に開催した。
2. 令和4年1月10日に「72期の新成人の集い」を開催した。

第9. 人材バンク活動

多彩な人材の発掘と人材バンク登録(本年度登録者数37名、うち23名が新規、中でも50期以降の若手が7名も登録)を行った。

第10. 役員改選準備

理事会で選挙管理責任者として山本理事を選出し、令和4年度改選の準備を行った。

以上

第2号議案 令和4年度 事業計画

第1. 定時評議員会

令和4年5月28日の定時評議員会を開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は毎月の開催、監査会は年2回開催とする。
2. 理事会業務の細分化・定型化により、多様な人材登用の場を広げる。
3. 評議員会出欠に対する返信状況を把握し、返信のない評議員の見直しを図る。
4. 評議員会開催案内をはがきからメールによる案内へ極力切り替える。
5. 定例の理事会、部長会をZOOM等によるウェブ会議形式も併用して会議の効率化を図る。

第3. 活性化に向けての取り組み

1. 一般会員からの情報収集、フィードバック体制の構築を図る。
2. 初めての同期会として「新成人の集い」を開催支援する。
3. 2回目の成人式となる仮称「40歳の集い」の企画を促し、今回対象の52期の開催希望があればこれを支援する。
4. コロナ禍で中断していたその他期の同期会開催を支援する。

第4. 会報発行、広報活動の充実

1. 会報66号を令和4年10月1日目標に発行する。
2. 会報、ホームページへの投稿・寄稿を会員に促進し、積極的収集による内容の充実を図る。

第5. 総会及びホームカミングデー

1. 令和4年10月29日(土)に総会の開催を予定する。
2. 総会開催前にホームカミングデー開催を予定する。

第6. 財政管理

1. 会報発送費削減のため、会費納入実績に応じた限定発送を継続する。
2. 同期会、総会、評議員会などの場を通じて、会費納入・寄付を呼び掛ける。

第7. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向けて、各期会員情報部幹事の活発な活動を促進する。
2. 高校75期の名簿を作成し、卒業時に配布する。

第8. 母校・PTAとの連携

1. 母校PTAと協力して、母校創立80周年記念行事を支援する。
2. 母校の発展に寄与するため、学校からの要請に迅速に対応し教育支援・部活動を支援する。
3. 文化祭等様々な学校行事の場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を広めていく。

第9. 人材バンク活動

1. 登録制度を活用して、多彩な人材を発掘し、卒業生の人材情報の充実を図る。
2. 会員相互の交流を図るような会員向け講話等のイベントを企画する。

第10. いずみ会創立80周年行事における企画内容を検討

以上

◇ 高74期 評議員紹介 ◇

- 1組 西脇 ゆいさん、平岩 真さん
 - 2組 浅岡 美寧音さん、須藤 祐生さん
 - 3組 市橋 隼人さん、菅原 彩夏さん
 - 4組 有門 里菜さん、柴田 純之介さん
 - 5組 木村 彩乃さん、新谷 俊貴さん
- 以上の方々が新たに評議員になりました。

評議員会議題の全文については、ホームページ「お知らせ・評議員会資料」をご参照ください。



令和3年度 収支決算書

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

単位:円

【収入の部】

科 目	令和3年度実績
入会金	965,000
会費	1,469,000
寄付金	1,009,500
総会参加費	0
名簿関係収入	21,000
広告収入	123,600
雑収入	224
合 計	3,588,324

【支出の部】

科 目	令和3年度実績
総会関連費	15,366
役員・評議員会合費	95,508
広報費	1,926,886
会費関連費	363,396
会員情報関連費	36,575
母校連絡費	0
会員活性費	67,104
いずみ会室関連費	649,258
雑費	2,200
予備費	114,730
母校支援費	107,432
合 計	3,378,455

【収支の部】

項 目	令和3年度実績
当期収入	3,588,324
当期支出	3,378,455
当期収支残	209,869
前期繰越金	13,280,797
次期繰越金	13,490,666

令和4年度 予算案

(自令和4年4月1日～至令和5年3月31日)

単位:円

【収入の部】

科 目	令和4年度予算
入会金	955,000
会費	1,361,000
寄付金	1,200,000
総会参加費	350,000
名簿関係収入	18,000
広告収入	160,000
雑収入	10,000
合 計	4,054,000

【支出の部】

科 目	令和4年度予算
総会関連費	400,000
役員・評議員会合費	225,000
広報費	2,011,000
会費関連費	390,000
会員情報関連費	65,000
母校連絡費	60,000
会員活性費	170,000
いずみ会室関連費	700,000
雑費	10,000
予備費	100,000
母校支援費(母校80周年行事支援費用を含む)	1,304,600
合 計	5,435,600

【収支の部】

項 目	令和4年度予算
当期収入	4,054,000
当期支出	5,435,600
当期収支残	-1,381,600
前期繰越金	13,490,666
次期繰越金	12,109,066

■会費納入の決まりは、

- ① いずみ会会員は、**年会費1,000円**を納入するものとします。ただし入会金納入者は、本会入会後7年目までの会費が免除されます。
- ② 会費免除の条件…年齢にかかわらず入会金を納入し、**累計45年分**の会費を納入した場合。ただし平成22年度分までは、全会員が会費を納入したものとみなされます。
また、令和元年度までに、満70歳に達した方、ならびに会費納入を完了された方を除きます。(終身会費までの年数は、**ゆうちょ銀行払込取扱票でご確認ください**)
※なお、ゆうちょの振替手数料が大幅に値上がりしていますので、**複数年分の納入**をお勧めします。

◆ 新役員紹介 ◆

会 長	荒井真理子(高20期)
副 会 長	富井利尚(高18期) 人材バンク部長、会報・ホームページ担当 山口達夫(高20期) 総務企画・会員情報・会計担当 植村直人(高50期) 総務企画部長、ホームページ部長
事務局長	山川 新(高24期) 会員情報部長(兼務)
会計部長	山本孝文(高30期)
会報部長	古畑基樹(高28期)
理 事	田邊夏樹(高21期)、花澤亮司(高22期)、真柳 仁(高24期)、 山田喜彰(高28期)、棟方隆一(高32期)、小倉扶美子(高32期)、 関根祥平(高32期)、藤倉彰夫(高32期)、中城知津(高32期)
監 査 役	布施百合子(高14期)、水野罔雄(高19期)、妹尾和夫(高21期)

■ いずみ会を維持・発展させるために、今後とも会費の納入・寄付のご協力をよろしくお願いいたします。

会計部長 山本 孝文(高30期)
e-mail : izumikai@v7.com

母校の現況

校長 俵田 浩一



いずみ会の皆様方には日ごろより本校の教育活動にご支援・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度の学校の概況についてご報告いたします。今年度の東京都教育委員会からの指定は6つです。Global Education Network 20(新規)、国際交流リーディング校、海外学校間交流推進校、情報科目の充実を図るための教員支援モデル校(新規)、文化部推進校(将棋部門)、文化プログラム学校連携事業実施校です。

この春の現役生の主な合格状況は、難関大学の東京大学2名、京都大学1名、一橋大学の1名、東京工業大学1名をはじめとして国公立大学に43名、早慶上理に94名と昨年に引き続き進路実現の成果をあげることができました。

現在新型コロナウイルスの影響により、時差登校、登校時の健康チェック、マスクの着用等感染防止対策を徹底しながら対面で授業を実施しています。行事等は、制限付きで実施できるようになりました。5月25日(水)には3年ぶりに体育祭を全校生徒で実施しました。その他の行事については、海外修学旅行や8月の海外語学研修は中止となりました。2学期以降については、文化祭は一般公開は中止、宿泊行事は予定通り実施する方向で準備を進めています。

入学者選抜では、今年度から高等学校段階の募集がなくなり、中学校段階の募集のみになりました。

また、創立80周年記念式典は、10月に練馬文化センターでの実施に向けていずみ会の皆様にもご協力いただきながら準備を進めてきたところですが、新型コロナウイルス関係の様々な制限により、残念ながら形式を祝う会として校内で実施に変更になりました。

最後に、主な生徒の活躍についてお伝えします。8月に香川県で開催される全国高等学校総合体育大会自転車競技に2年生女子が出場します。出場に当たりいずみ会から温かいご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。7月31日(日)から東京都で開催される全国高等学校総合文化祭には、弁論部門に高校3年生2名、自然科学部門に高校3年生1名が東京都代表として出場します。その他にも大会運営委員としてたくさんの生徒が参加する予定です。

今年度完全中高一貫化の新しい大泉の歴史が始まりました。いずみ会の皆様にも引き続き、様々な面でご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

副校長あいさつ

副校長 浜田 浩和



いずみ会の皆さま、この4月に着任いたしました副校長の浜田浩和(はまだひろかず)です。教科は保健体育、専門はハンドボールです。どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より、本校の教育活動に御理解御支援いただき誠にありがとうございます。大泉は、今年で中学が創立13年目、高校が創立82年目を迎え、この10月3日に創立80周年記念式典を実施予定でした。コロナ禍、東京都教育委員会から実施にあたり生徒、教職員と最小限の来賓(同窓会長・PTA会長)の参加との通知がありました。本校といたしましては、大変残念ではございますが、「祝う会」として実施する運びとなりましたことを報告させていただきます。また、令和4年度入学者選抜から高校の募集が停止となり、中学3年生3クラスがそのまま高校1年生となりました。その関係で、中学募集が今までの120名から160名の4クラス規模になりました。都立併設型中高一貫教育校5校は、令和5年度までにすべて高校募集を停止いたします。本校は、令和9年度に1学年4クラス6学年の完全中高一貫化となります。卒業生も、令和6年度から3年間は、現在の5クラス200名から3クラス120名となり、その後は160名となることを改めて報告させていただきます。

最近の学校教育の状況でございます。政府は、コロナ感染対策に対して緩和の方向が示されておりますが、東京都教育委員会は、まだ状況を重たくみております。本校でも、感染対策の徹底は緩めることなく継続してマスクの着用や昼食時の黙食等徹底しております。その中で、3年ぶりに6学年が一堂に会して体育祭を実施いたしました。コロナ感染防止の観点から、保護者、来賓の参観なく実施いたしました。ただし、高3生は最後の体育祭となるので、すべての学年保護者にライブ配信を行うことで少しでも学校の様子をお知らせできるよう取り組みました。今後、9月実施予定の文化祭につきましても、実施形態を工夫して行ってまいりたいと思います。

最後に、副校長として今までの大泉の伝統をしっかりと引継ぎ、そしてさらなる発展を目指し頑張りたいと思います。今後とも同窓会の皆さまの御理解御支援を賜りますようお願いいたしますし、挨拶とさせていただきます。

3年振りの全学年合同での体育祭が、5月25日(水)に開催されました。



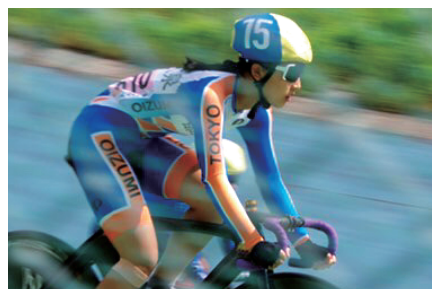
吉野先生、瑞宝章受章 おめでとうございます

母校第15代校長吉野尚也先生が、令和4年春の叙勲において瑞宝小綬章を受章されました。いずみ会より心からのお祝いを申し上げます。

永く学校教育の発展に貢献されたことからの受章で、母校においても併設型中高一貫校になる時に大変なご尽力をいただきました。本年2月の職業講話は笑顔とエネルギーに溢れ、生徒たちに元気と勇気を与えていただきました。

今後のますますの御活躍をお祈りしております。

インターハイに出場して 高校2年 阿部 優花



先日、四国で行われたインターハイの自転車競技に出場してきました。同窓会の皆様を始め、沢山のの方々から応援を頂き、参加することが

出来ました。本当にありがとうございます。

全国大会はやはりレベルが高く「選び抜かれた選手たちの熱い戦い」を感じ、独特な空気感でした。それと同時に、地元のボランティアの高校生が沢山いたり、ロードレースのために道路規制がされていたり、多くのの方々の支援のおかげで大会が成り立っていることに気づきました。

そんな中、私は「女子12kmポイントレース決勝」という種目に出場しました。着順で決まる普通のレースとは違って、トラック5周ごとの着順の上位4名にポイントが与えられ、計6回のポイント周回で得たポイントの合計で順位が決まるというものです。トラック競技の中で1番距離が長く、大人数で走るため、花形種目です。体力は勿論、戦略が勝利の鍵を握ります。結果はあと一步入賞に届かず9位でした。悔しさは残りましたがインハイ前2週間練習できていなかった中で、今ある力は全て出し切れたと思います。

次は3月に、「全国選抜」という全国大会があります。まずは関東予選で1位通過し、選抜では表彰台に乗れるように頑張ります。沢山の応援、サポート、本当にありがとうございました。支えて下さった方々への感謝を忘れず、全国選抜まで駆け抜けますので、引き続き応援よろしくお願いします。

(事務局から) 大会での阿部さんの活躍は、いずみ会ホームページに写真・動画と共に掲載していますのでご参照ください。

教職員異動(敬称略)

【転出】()内は転出先

中学・社会	安田 秀幸	(小松川高校)
中学・数学	桧山 亨	(立川国際中等教育)
高校・副校長	猪又 英夫	(非常勤・立川国際中等教育)
高校・物理	西山 政人	(戸山高校)
高校・保健体育	長野 端央	(板橋有徳高校)
行政・室長	土屋 龍司	(井草高校)
行政・主任	萩原 由紀子	(西東京市立柳沢中学校)

【転入】()内は前任

高校・副校長	浜田 浩和	(狛江高校校長)
高校・保健体育	中丸 美由紀	(向丘工高)
行政・室長	障子 正晴	(オリンピック準備局)
行政・主任	鹿野 純平	(水道局)
行政・主事	鈴木 将之	(練馬区立光和小学校)
行政・図書館司書	河合 博恵	
行政・図書館司書	松本 智子	

進路状況 主な大学への合格者数()内は現役生

【国立大学】41(36)

東京2(2)、京都1(1)、北海道1(1)、東北1(1)、東京工業1(1)、一橋1(1)、東京外語1(1)、お茶の水2(1)、筑波2(1)、東京学芸6(6)、電気通信2(2)、東京農工7(6)、横浜国立3(3)、東京海洋1(1)、埼玉5(3)、茨城1(1)、岩手1(1)、帯広畜産1(1)

【公立大学】7(7)

東京都立4(4)、埼玉県立1(1)、都留文科1(1)、富山県立1(1)

【大学校】5(5)

防衛医科2(2)、国立看護2(2)

【私立大学】629(599)

早稲田42(40)、慶應義塾13(13)、上智12(12)、東京理科31(29)、青山学院10(10)、明治38(36)、立教33(33)、中央20(18)、法政47(42)、日本46(42)、東洋43(43)、駒澤4(4)、専修12(12)、成蹊16(15)、成城8(6)、明治学院6(6)、武蔵10(10)、北里1(1)、工学院4(4)、国学院5(5)、芝浦工業24(24)、順天堂5(5)、津田塾1(1)、東京女子13(11)、東京電機8(7)、東京農業4(4)、日本女子8(8)、桜美林3(3)、帝京11(9)、東海3(3)、同志社2(2)、立命館2(1)

主な学校行事

10月3日	80周年記念式典
11月10日～13日	修学旅行(高校・中学)
2月16日	合唱コンクール
2月18日	職業講話(中学)
3月11日	卒業式(高校)
3月18日	卒業式(中学)

職業講話

いずみ会では、中学3年生を対象とした職業講話を今年も2月19日に6人の講師を招いて開催することができました。当日の説明資料及び掲載できなかった受講生の感想文等についてはいずみ会ホームページをご参照ください。



吉野 尚也 (大泉高校第15代校長)

「子供のヤル気を生む8つの要素」



中・高校・教委・大学の教職を通じて得た経験律と東京女子体育大ゼミでの文献・調査・実践研究に基づく「ヤル気を生む8つの要素」を、具体例や調査結果をもとに中学生に分かり易く述べ、「主体的・対話的で深い学び」を得るための一助となるようにお話ししました。まず前提として「論語」の「知るものと言えども好むものに如かず、好むものと言えども楽しむものに如かず」から始め、(1)できそうな「目標を明確に」し、(2)どうすれば達成できるかその「具体的な方法」を掴み、(3)現在どこまで達成しているか「成果を確かめ」、(4)友達や仲間と「励まし合う仲間づくり」をしながら、(5)信頼できる好きな「よい指導者」を得て、(6)自分が必要な存在だと思う「自己有用感や自尊感情」を大切に、(7)時には服装や持ち物など「新しい環境」で気分を一新しながら、(8)栄養・運動・休養をきちんととって「心身の健康」を基盤とすることが、「ヤル気を生む8つの要素」ではないかと話しました。最後に、時としてヤル気が萎えた際には、この8つの要素の何が原因なのかをチェックしてみるといいよと「ヤル気のチェックシート」を示しました。「自主・創造」を標榜し、旧制高校の気風を残した「校友の歌」を謳歌する大好きな大泉高の生徒とはやや違い、真面目で勤勉な今の中学生と感じたものの、送られてきた50名の感想文を読むと、まだまだ脈々とその良き伝統が残っていることが嬉しくなりました。

学んだ事・感想

★やる気を出すためには「好き」だという気持ちが一番だということに納得した。才能がないからとあきらめるのではなく「好き」という気持ちを大切にできるようにしたい。

松井 正憲 (高27期)

「新聞とテレビの話をしよう」



今回、お話ししたかったのは「3+2」の合計5つです。最初の3つは、①自分が新聞記者になったのは「歴史の生き証人」になりたかったから、②高1の夏までに最初の人生設計図を書いて欲しい、③メディアの世界ではグーテンベルクの活版印刷の発明を上回るコミュニケーションの革命が起きている。

4つ目は著名な心理学者のA・アドラーの「幸福3条件」です。

(i)自分を好きになる、(ii)人を信頼できる、(iii)社会に貢献できる—の3つが大切な条件です。最後は「人生100年時代」の中で何度失敗してもやり直せるということ。つまり中3の皆さんの前にはあらゆる選択肢が広がっています。

「歴史の生き証人になりたい」という私の職業選択の象徴的な出来事が2001年9月11日にアメリカで起きた「同時多発テロ」でした。同じ年の6月、私がホワイトハウスでブッシュ大統領にインタビューした時、アメリカはまさに世界最強、絶頂の国でした。それからわずか3カ月後、イラク・アフガン戦争を契機にアメリカはなだらかなダウントrendをたどり始めます。NYの崩壊した世界貿易センタービルの跡地を訪れた時、ぽっかりと空いた巨大な穴をのぞき込むように傾いて立つビル群が、まるで地獄の底をのぞき込む巨大な幽霊のようだった光景は今でも忘れることができません。

学んだ事・感想

★「すべてを知る、理解することはできない。しかし、常識で補うことはできる。」ということ、また、人間にとってコミュニケーションが大切なことを学びました。★人生はあきらめなければ何度でもチャンスはあるということ。自分のキャリアに傷がついたら終わりと思っていたが、もし相当大きな挫折があっても、多くの分野に手を出して何度でも新たなキャリアを積んでいきたい。

柳沢 諭 (高55期)

「理学療法士の仕事と、自分のやりたいことの見つけ方」



当日は、次の三点、①理学療法士という仕事について、②コロナ禍での生活スタイルの提案、③自分のやりたい事の見つけ方、についてお話をしました。まず、理学療法士という職業は、障害のある方へリハビリを行うだけでなく、同居される家族のメンタルケアや、家庭環境の調整など多岐にわたること、多くの方々と円滑なコミュニケーションを取るため、傾聴力や端的に伝える力が必要なことをお伝えしました。次に、コロナ予防対策として自動噴射する消毒液の受け方など、医療従事者の目線から、細かいテクニックをお伝えしました。最後に、将来やりたいことを見つけるために、必要な三つの要素を、ワークシートやペアワークを通じてお伝えしました。このワークがいちばん盛り上がりました。やはり、アクティブラーニングが必要なのだと感じました。

学んだ事・感想

★「生きているだけで価値がある」(本時の最重要ワード) パーソナルトレーナーから理学療法士へ転職したきっかけを聞いて、「自分でなくてもやれる仕事」より「自分でなければできない仕事」得意でやりがいをより強く感じられる仕事につくことの重要性を学びました。私もまず、盲目の窓に隠されている多くの可能性を発見し、自分の強みを見つけていきたい。

小嶋 京子 (高35期)

「食べることは生きること、食べることを通して健康に導くことができる栄養士に導かれて」



管理栄養士になったのは、2人の恩師、女子栄養短期大学・岡崎光子教授、栄養士校外実習の指導教官・池袋保健所の玉田富子栄養士に、「栄養士になるなら管理栄養士になりなさい」と導いていただいたお陰です。現在は保育園栄養士として120人の園児と保育士などに毎日の給食を提供しています。子どもたちの体格に合わせたバランスの良い献立を立て、給食会議で給食室の調理師や保育士と話し合い、美味しい給食を決定していきます。心を込めた給食を子どもたちがしっかり食べてくれることが仕事のやりがいにもつながります。

女子栄養短期大学の2年間で栄養士を取得、さらに女子栄養大学へ編入学して管理栄養士になりました。公衆栄養では母子から高齢者の食育推進を、更に、日本女子大学の通信教育で中学・高校「家庭・保健」の教員免許も取得しています。

食は人を良くすると書きます。食は命の源です。毎日食事を作ってくれる方へ「おいしかったありがとう」の感謝の気持ちを素直に伝えてほしいと思います。食べることが大好き、人が大好きな方、栄養士になりたい方、生涯の食育に興味のある方、是非管理栄養士としてご活躍下さい。

学んだ事・感想

★管理栄養士という職業は聞いたことはありましたが、具体的に何をされているのかはわかりませんでした。しかし、今回の講話で管理栄養士さんの「人を考える仕事」や活躍できる幅の広さ、そのほかにも「3・1・2弁当法」などの具体的な実践方法まで知ることができました。今まで私の食を支えてくれた家族への感謝の重要性も実感しています。

伊藤 龍之介 (高64期)

「数学X保険の専門家「アクチュアリー」について知ろう ～中学から始める保険数理」



アクチュアリー、主に保険会社で確率・統計などの手法を用いて不確定な事象を扱う「数理のプロフェッショナル」で、資格試験に合格することが必要ですが数少ない「数学」でお金を稼げる職業の一つです。

今回は、「保険」「数学(確率、特に期待値)」の解説から始め、

アクチュアリーがどのような仕事をしているのかイメージをつかんでいただきました。特に、「保険は助け合いの精神で出来ている(相互扶助)」というところが伝われば幸いです。保険ビジネスは歴史と理論に支えられた非常に面白いビジネスですので、興味があればぜひ調べてください。

思えば、私が中高生のころは、「数学に関する職業に就きたいけど、学校の先生以外は何があるかな?」と素朴に考えていました。今では私はアクチュアリーとして働くことができ、数学の知識に支えられています。仕事では「これはポアソン分布だから…」「マクローリン展開して近似すると…」といった会話が良く出てきます。皆さんが学校で学んだ内容は数学に限らず、自分の将来に資することもできます。「この科目は苦手だから…」「こんな勉強して何になるの?」と思わず、ぜひ興味の範囲を広く持ってください。勉強した結果は、必ず生きてきます。無限の可能性を捨てず、自分の将来のために邁進してください!

学んだ事・感想

★数学が意外と身の回りで生かされているということ。宝くじを買ったり、保険や年金等について考えたりすることは必ず自分とかわかることなので、それを数学という新しい切り口で見ることができ、よかったと思います。

宮嶋 直輝 (高68期(附属中学1期))

「失敗して、挫折して病気になって、たとえ本来敷かれたレールから外れても、必ず生きる道はある」



講話前ある女子生徒に私の講話を受けようと思った動機を訪ね、その発言から、「本来敷かれたメインレールの上を生きていけるか不安だけれども、なんとか頑張っていくためにも、道を外れたらどうなるのか、外れても大丈夫なんだという安心感が欲しい。」という意図を汲み取りました。

メインレール(良い大学へ進学し優良企業に就職、結婚して子供を育てる)を歩むのが理想かもしれませんが、もしこのレールから外れたとしても必ず生きる道があることを、私の経験・生活スタイル・理念等を通してお話ししました。

生徒の皆さんは心のどこかで「生きづらさ」を感じているのではないかと思います。少し肩の力を抜いて、目の前の小さな幸せに気づいて、縁を大切にしながら、時には誰かに頼って迷惑をかけ、時には誰かに頼られて迷惑をかけられ、そんな人生を生きていってほしいなと思います。改めて『人間万事塞翁が馬』この言葉が身に沁みます…。

学んだ事・感想

★気分が軽くなる生き方を学びました。頑張れ!とか頑張らなくていい!とか、いろんな意見があふれていますが、自分の意思決定で大切なものだけを大切にしていこう考え方がなぜか体に馴染みました。助けてくれる人たちや、一見何もないような時間を大切にしつつ、自分が心地よいと思える生き方を探したいです。

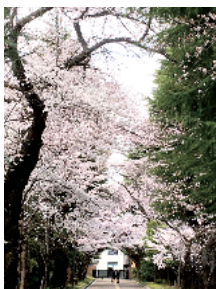
大泉高校の思い出

中3期

入学式の思い出と桜

小淵 哲夫

昭和18年4月1日、東京府立第二十中学校へ入学の日、それは手のかじかむような寒い日だった。校庭での入学式には母が参列してくれた。校長の訓辞などがあったが忘却の彼方へ消えている。もうはっきりとは覚えていないが、明日から使う教科書や肩掛け鞆などを揃えた。門から校舎まで長い道があり、入学後はその道を集団ごとにまとまって“歩調取れ”の隊伍を組んで歩いた。着いたところに先輩上級生が立って見張っていて、しっかり歩かないときは門まで戻され、巻いていたゲートルが歩いているうちにゆるんでずり下がると巻き直して門まで戻された。入学後には、「作業」という、駅から学校までの道の砂利撒き、畑だった校庭を平らにならしたり雑草を抜いたりという教科もあった。校舎はこの年にできて、机などは元の仮校舎から先輩が約1里の道を歩いて運んだという。5年後には新制高校（東京都立大泉高校）となったが、あと1年もう教えることはないという話でもあり、私は中学で卒業し就職した。ごく少数の大学入学者を除いて大部分の人は高校に残った。中学の卒業生は20人ほどで、卒業式は校長室で行われた。校庭に爆弾が落とされたり、機銃掃射を受けたりした思い出と共に、広い校庭の周りには桜の若木を植えたが、今では老木木となって花をつけていることだろう。



(脚注) 旧制中学は修業年数5年間であったが、1943年(昭和18年)に中等学校令で4年間に短縮、更に戦後再び5年間に戻された

高10期

「卓球部」を創設

田島 寛(旧姓中村)

私達10期生は昭和30年、戦後10年目の入学、現在の校舎のある所がグラウンドで周囲は一面の畑でした。私は中学時代から卓球部に所属していたので、大泉高校で続けるつもりでしたが卓球部はありませんでした。しかも、驚いたことに卓球台は校舎の外にあり、台の表面には隙間があったり反ったりしていました。当時は戦後の復興がやっと軌道に乗り始めた頃、まだまだ住宅難で電話も呼び出しの時代でした。

スポーツ界では昭和29年に卓球世界選手権ロンドン大会で荻村伊智朗・田中利明両選手の活躍で団体戦優勝、個人戦でも荻村選手が優勝し日本中が沸き返っていました。翌31年には東京で世界選手権が開催され、男子団体戦は3連覇、個人戦でも荻村選手が優勝と「卓球日本」の名が世界に轟く時代でした。

私はどうしても卓球部を創りたく生徒会役員をやっている

た同級の石井晴士君に協力を頼み両角校長に「卓球部の創設」を要請、快諾を得ました。生徒会でも認められ、大泉高校卓球部が誕生しました。ちょうど新体育館が完成し、新しい卓球台を購入してもらい、生徒会の予算からネットやボール、ラケットなどを揃えて、たしか20数人でスタートし練習に励んだことを覚えています。第三学区の大会にもでしたが残念ながら勝てませんでした。新体育館については、バスケット部など他の運動部との練習日・時間の調整で苦労したことが懐かしく思い出されます。

私は卒業とともに卓球を辞めてしまいましたが母校に卓球部を創ったことが高校時代の一番の思い出です。

高20期

今につながる「私の大泉」

井口 和子

2才から大泉に住む私の近所には大泉高に通う「お兄さん」が大勢いて、私は先のオリンピック(1964年)の翌年に入学しました。

《個性あふれる先生方》教科書の内容を皆に英語で問いかける先生に驚きました。私は英語が不得意なのになんと1・3年の担任は英語の先生。1年生の冬休みの宿題が百人一首の丸暗記。1月には学級でカルタ会を開き楽しみました。今はもっぱら読み手です。大がかりな器具で「エネルギー保存の法則」を実験してくださった物理の先生。地学では高島平まで化石を見つけに。

中国史から始まった世界史。30年後に私は、パスポートを手にも中国、エジプト、旧ローマ帝国領等へと旅行しました。

《行事とクラブ活動》冬の榛名湖のスケート教室。手摺がないので1周する間に滑れるようになります。2年の榛名では、ボートの漕ぎ方、40人分のカレーの作り方・かたづけ方等を学びました。クラブ活動は軟式テニス部。コート整備でローラーを引いてまっすぐ歩く、ボールから目を離さない、チームワークを大切に等を学びました。当時はあまり上手ではなかったが、30才の頃には勤務した所の大会で団体優勝をして楽しみました。体育祭ではクラスからリレーに出ることに。一時先頭を走ってドキドキしました。小学生の時はほぼ4か5等でしたから。志望大学に無事入学した事を報告に行くと先生方はとても喜んでくださいました。その後「書道」を専攻し、頼まれて後輩の高校生の前で条幅を実際に書いて見せたこともありました。

時を経て、長男と姪の2人が大泉高校に学びました。今は大泉学園駅から西武電車に乗るたびに、車窓から母校を見えています。

高30期

「熱中時代～柔道部編～」

小椋 孝

「おーい、黒帯持っているってよ!」。中学校の柔道部で万年補欠だった私は、同じ立場の友人と共に高校では別の

部活に入るつもりで入学式を迎えました。校門をくぐる前に、やたら背の高い先輩から「君たち柔道部に入らない? 3か月で黒帯取れるよ!」と声を掛けられ、友人が素直に「もう持っています」と答えたところ、冒頭のような声が掛かり、すぐに柔道部の先輩方に囲まれたのです。2人で相談し「1回見学に行って義理を果たして断ろう」と体育館に行ったところ、「じゃ、そこで着替えてね」と柔道衣を渡され有無を言わず練習に参加、意思確認や入部届もないままにめでたく柔道部員となりました。意に反して柔道を続けることになりましたが、高校では経験者として周囲を牽引する立場となり、思いがけぬ期待を受けて一意専心に練習に励みました。同級生の存在が一番の励みでしたが、顧問の先生、先輩、そして後輩にも恵まれ、切磋琢磨する中で私が主将、友人が副主将となり、充実した3年間を過ごすことができました。また、3年間を通じて、担任の先生やクラスの仲間だけでなく、様々なつながりで人に恵まれました。大泉高校柔道部での経験、そして人と人とのかけわりを通して得たことが教員を目指す動機となり、40年間教職に携わりました。校長になった私の学校経営方針は、もちろん「自主創造」。校友の歌の理念が、今でも心に刻まれています。

高50期

『映画監督デビュー』

竹田 克也

高校の思い出を書いてくれと言われた。思春期の当時は勉強のみならず友人関係や恋愛、進路など心が激しく動く時期だが、それはどこの高校生も似たようなものだ。まさか片思いの思い出を書くわけにもいかない。大泉らしいエピソードとは何かを考えた。

社会科に木立先生という痩せ身で眼鏡をかけた先生がいた。校外授業で車いすで大泉学園駅から池袋まで出かける企画を実行したり、中嶋君と企画した円形校舎前の音楽イベント実現にも協力して下さったりと、とても面白い(変わった?)先生だった。

3年のある日、大学受験をしないと決めた僕に先生は「学校説明会用の映画を作らないか」と依頼をしてきた。ビデオカメラと編集機材を預けられて僕は人生初の映画制作をした。部活やイベント映像を組み合わせ、ところどころにストーリー仕立ての映像や友人のインタビューを挿入した。音楽は自作の物を使った。大変だったけどとても楽しかった。

その年の学校説明会で作品は無事上映された。木立先生が作品を褒めてくれたかは覚えていない。その映像は手元にはない。あったとしても今それを客観的に観る勇氣はない。

そんな僕だが音楽活動は続けているものの、家業の惣菜店二代目として生きている。人生そんなもんさ。でも楽しく生きている。

ところで当時の僕は木立先生にお礼が言えてたのだろうか。お礼を言えるなら「ありがとうございました」と伝えたいな。

高28期

同期の多彩な仲間たち! =カリスマか老害か= 清水 義裕

10年前も同じ仕事をしていたと気が付いた時からあつという間に、40年前も同じ仕事をしていた年になった。28期の同期は今年で65歳になる。この28期は多才な人々の集まりで、例えばYさんは靴のデザイナーで独自のブランドを持っている。Kさんはパタンナー^{*1}として永年ファッション業界で腕を振るい、ちがうKさんは芝居の衣装を作り続け、Mさんはオーケストラで第1バイオリンを、工学系大学を出たYさんは脱サラをして農業に、彼からの里芋は5年間豊かに実っていた。Tさんは税理士でアンパンマンのスタジオの経理を見ている。Dさんは宗教家として道を説き保護司の仕事もしている。陶芸家や作曲家、先生、校長先生、大学の教授もいるし、劇団四季のダンサーも、FMのアナウンサーもいる。もちろん大企業や出版社、銀行を勤めあげた人もいる。また28期はお祭り好きで、コロナ前は盆正月に20人くらいで飲み会をしていた。コロナがいくらか下火になったこの7月には、5年毎に行ってきた正式な同期会の打合せに幹事たちが25人ほど集まり、杯を重ねる。打合せが本音か打合せにかこつけた飲み会となるのか、高校時代には想像もしなかった65歳の同期会である。果たしてみんな経験を積んだ立派なカリスマかそれとも老害をまき散らすただの老人になったか、コロナでの断絶が打ち破られるのは嬉しさもあるが怖さを感じる。

*1 ファッションデザイナーが作成したデザインを基にパターン(型紙)を起こす専門職

コラム

町医者の酔いどれ日誌 ～選挙立会人編～ (抜粋)

高32期 棟方 隆一

去る令和3年7月4日(日)7時前、東京都議会議員選挙の投票立会人を初めて務める為に、私は練馬区立関町北小学校に着きました。7時から始まる会場には、私たち立会人4名、区職員7名、警察官2名、民間警備員3名が揃いました。投票所内には投票記載所12、点字投票記載所1、車椅子用記載所2が設置され、真中の投票箱から2m離れた席に立会人4人が座ります。立会人の最初の仕事は、公職選挙法に則り1番に投票する人と投票箱内の確認をすること。その後は1時間毎に投票者数を記録しながら、公職選挙法に違反する行為がないか見守りを続けます。午後7時のベルを合図に投票は終わりますが、この後、投票箱をタクシーで開票場(光が丘体育館)まで運びます。練馬区内の開票場から運ばれた投票箱は、体育館内に運びこまれて開封され、投票用紙を整理した後、開票作業が夜明けまで続きます。当日は14時間の拘束、ぐったり疲れました。さて、投票したことを証明する「投票済証」をご存じですか?立会人席に置いてあるスマホサイズの紙片で自由に持ち帰れます。初めて投票をした若者が記念にと受け取っていかれました。

(本稿全文はいずみ会ホームページに掲載されています。是非そちらもご覧ください)



“まんぽ会画廊”「彩・鮮やかに」



コロナ禍も2年半を過ぎ、未だその収束を見ることができない状況の中、なんとなく出かける機会も減ってしまいました。そんな中、いずみ会「まんぽ会」ではあちこち歩いたなあと、その景色をふと思い出します。今回は高校8期の片山隆さんが思い出に描かれた作品をご紹介します。たくさん描きためておられる中からコロナ以前1～2年の名作を選びました。紙上で楽しみください。



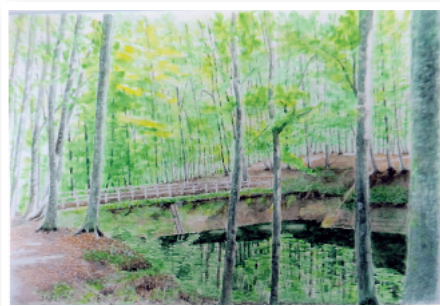
文京区 細川庭園と桜 (H29.3.31)



東村山 北山公園のしょうぶ (H29.6.14)



平林寺 山門の紅葉 (H29.12.1)



十日町市松之山のブナ林〔通称 美人林〕
(H30.6.21~22)



松戸市 戸定邸〔水戸藩主 徳川昭武屋敷〕 (H30.4.5)



長瀬 舟下り (H29.10.6)

いかがでしたでしょうか？

津南では河岸段丘と市街地を見渡せる高台の草むらで何かが見てる！「えっ？何？」じっと見つめる愛らしい眼はカモシカ君だった。松之山の美人林では「ヒョロロロ～ン↓」となくアカショウビンに会えることを期待したり。東村山の北山公園から八国山では「となりのトトロ」のモデルになった雑木林を通り抜け、スーッと横を“猫バス”が通りすぎた？気がしたり。皆さんもコロナが収束したら誘い合ってあちこち探検してみませんか？近くにも今まで気づかなかった「場所」がきっと！

築根クリニック

東京都練馬区関町東1-22-11

TEL 03-3928-7868

<http://www.tsukune-clinic.com>

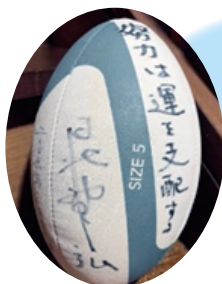
内科・放射線科
院長 築根 吉彦

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00～12:30	○	○	/	○	○	○	/
PM 3:30～ 6:30	○	○	/	○	○	/	/

大泉高校ラグビー部の大先輩 日比野さんを偲んで

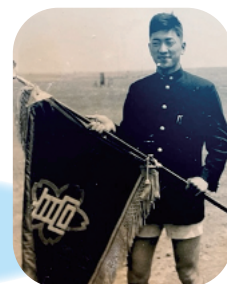
ラグビー部OB会 高25期 大須賀 誠

大泉高校ラグビー部出身で、日本のラグビー界の発展を支えてこられた大泉ラグビー部名誉会長である日比野弘氏(高6期)が昨年11月逝去されました。本年5月3日(火・祝日)「日比野さんを囲む会」が、森喜朗元首相、日本ラグビー協会森重隆会長(当時)等が発起人となって日本青年館で行われました。当日の参会者は500人以上で故人を偲びました。またこの席上で、故日比野さんに対する従五位の叙位を、元日本ラグビー協会会長の森喜朗氏から奥様へ伝達が行われました。



(左) 日比野さん座右の銘
「努力は運を支配する」

(右) 大泉校旗を手に
ニッコリ



(注) 日比野さんの追悼文集は、いずみ会ホームページに数多く掲載をされていますので、是非ご覧ください。

<http://www.izumikai.com/>

高13期 同期会開催

5月19日(第3木曜)、「傘寿」記念の同期会を池袋のサンシャインクルーズ・



クルーズで開催しました。新型コロナ禍で参加数の減少を心配しましたが、32名とまずまず。3年ぶりの開催ですが、元気な姿の仲間が定刻前からガヤガヤと旧交を温めていました。

笠原氏の進行で、物故者に黙とうを捧げたのち、乾杯を戸田氏の音頭で、出席者のほぼ全員が近況報告をしました。悠々と農作業に励む人、医師・弁護士・お茶の研究を続けている人、アシタバに惚れこんだ人、カタカナ言葉に憤慨する人、会議はもっぱらZOOMで頑張る人、列車不通にめげず新潟から駆け付けた人、卒業後も思い出を大事にしている人など様々でした。「校友の歌」を元合唱部岡本氏の指揮で斉唱、小松さんの挨拶で一次会を締め、来年も5月第3木曜に開催することになりました。

(田中昇次)

高12期(昭和35年卒)の皆様へ 同期会開催のお知らせ

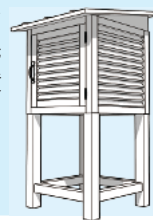
延び延びとなっておりました「最後の」同期会を以下の要領で開催することになりました。

9月10日ごろには改めて往復はがきでご案内を差し上げますが、ふるってご参加ください。

- 1, 日時 10月12日(水) 開宴15:30
- 2, 会場 中野サンプラザ 14階セレクト
- 3, 会費 7,000円

「百葉窓」の思い出 高3期 匿名

「母校の正門左に作り上げた白い百葉窓」、私たちの宝物だったのです。戦時中の爆弾に開いた大きな穴に、観察用の百葉窓を作ることになりました。物のない時代、駆けずり回って資材を集め、顧問だった花崎文一先生と学校に泊まり込んで作ったのです。正門横の白いピカピカの百葉窓を思い出すと、当時のことが懐かしく蘇ります。今はないあの百葉窓、何時頃まであったのか、ご存じありませんか…?



カンザキの家

無垢の木と漆喰で建てる



家を選ぶことは、人生を選ぶこと。

こだわりの標準仕様

1. 「柱／ヒノキ・土台／青森ひば」
自然乾燥された四寸角。耐久性に優れ、防腐・防蟻剤必要なし
2. 「窓枠・ドア枠・フローリング 全て無垢材」
枠材はヒノキが標準、フローリングは北海道産のタモ材が標準
3. 「壁・天井／漆喰」
調湿性に優れ、静電気、カビ、ダニ、結露を抑える、不燃の自然素材

資料請求された方に
プレゼント!



建築のベストセラー
神崎 隆洋 著



<https://kanzaki-architects.com>

カンザキ建設 杉並区今川 3-20-5 TEL.03-3397-1150 HiNOX

72期新成人の集い 「新成人の集いを終えて」

高校72期 鎌形 勇太

2022年1月11日の高校72期生「新成人の集い」開催にご協力をいただいたいずみ会の皆さんにお礼申し上げます。
 連絡葉書の準備や当日の運営を企画・計画すること、また、コロナ感染の拡大によって開催直前に時間調整を余儀なくされたこと等、苦労が多かったのですが良い経験とすることができました。
 会場では久しぶりに集ったことから見間違えるような人も多くいましたが、高校時代を思い出してとても懐かしい雰囲気でした。今回は先生方をお招きできず残念でしたが、改めてご参加をいただいていたのが開催できれば、と思っています。



令和3年度 いずみ会ホームページ掲載記事の紹介

昨年9月以降も会員の皆さんから多くの投稿をいただきました。掲載したタイトル、抄録を紹介しますので、まだご覧いただいていない方は是非ご覧ください。

★アメリカ滞在報告

高21期 安岡 章雅さん

2021年8月アメリカ南部ジョージア州に長期滞在された安岡さん。アメリカの田舎町のコロナ対策の様子、スーパーマーケットでの商品価格、そして、滞在されたAirB&B等日本では見聞きできない現地情報を、3回連載として伝えていただいています。

★動物愛護の大切さ

高24期 高橋 真姫さん

東京都の動物愛護推進ボランティアの高橋さん、愛護センターでの猫の乳幼児の世話の実態紹介を通して、ペットの飼育、ペットとの共生の楽しさ、動物愛護の大切さを語っていただきました。

★連載エッセイ

高32期 棟方 隆一さん

昨年から連載をいただいている棟方さんの軽妙なエッセイ2本。「還暦町会長の奮戦記」では町会長の激務奮闘が、「東京パラリンピック2022に参加して」では大会開催の苦労話が、軽妙なタッチで紹介されています。

★まんぽ会の足跡

高20期 荒井 眞理子さん

2007年に始まり14年間に59回も歩き回った「まんぽ会」、その足跡が一表にまとまりました。コロナが去って後、再開を待ちわびる日々です。一覧表はホームページでご覧ください。

★新春の箱根紀行 雪景色

高20期 荒井 眞理子さん

雪一面となった1月7日、もっと美しい雪景色を求めて、箱根路に足を延ばした荒井さん。青空に映える富士山、御殿場から大涌谷、桃源台、芦ノ湖と冬の箱根が紹介されています。

★大泉の老舗喫茶店

高68期 宮嶋 直樹さん

大泉在住の宮嶋さんがお気に入りの老舗喫茶店が、コロナの影響で閉店しました。永年通ったお店の魅力と閉店してしまう寂しさが綴られています。お気に入りの喫茶店を紹介して下さい。

★エッセイ連載始めます

高68期 宮嶋 直樹さん

2月の職業講話で講師を務められた宮嶋さん、受講生から寄せられた感想文への返信を綴られました。今回を機会に、エッセイの連載が始まります。乞うご期待！

★コロナ下の英国紀行

高18期 富井 利尚さん

コロナ検疫規制が残っている5月の渡英紀行です。空港での検疫検査の様子、何時もと違う航空路の紹介に加え、最近のロンドン市内の様子が写真と共に紹介されています。

★高校生生け花バトル観戦記

高20期 荒井 眞理子さん

6月に開催された「高校生生け花バトル関東大会」、全国大会出場を目指して母校からも2チームが参戦。従来の常識を超えた「生け花競演」、激しい競技の模様を現地レポートしていただきました。

会計部より・寄付・広告提供者一覧

昨年度も多くの皆様に同窓会費・寄付及び広告をご提供いただき、まことにありがとうございます。今回お名前を掲載しましたのは、次の方です。

① 寄 付 者 :

令和3年4月1日から令和4年3月31日の期間に寄付を頂いた方(終身会費を超えて振り込まれた場合は寄付として扱わせていただきました)。

② 広告提供者 :

会報いずみ66号に広告を提供していただいた方。

寄付者一覧(敬称略)

【中01】佐藤公彦、樋田並照、【中02】福士義人、【高02】塩塚満、【高03】貫井亮、新井龍二、五十嵐孝夫、小川陽弘、中西和夫、【高04】猪谷千春、仁科和雄、比嘉高、諸井勲治、【高05】川津邦雄、武内延浩、大橋陽子、大澤登、鎗田恵美、矢野茂嬉、齊藤毅、石田要久、【高06】平野和夫、永井満、柚原修、土屋雅春、浜野章保、大沢輝夫、佐野弘太郎、松村幸子、鹿島一雄、【高07】新谷直道、関壮吉、中川康夫、三平千代子、岩隈勉、【高08】金子和子、島田恵造、浅野稠子、小美濃道雄、杉浦五十鈴、宇田川公子、【高09】渡部邦雄、穴戸俊雅、柚原美智子、須藤一彦、畝村治男、林光生、矢花昌子、鎌倉悦子、【高10】本橋達朗、織田和子、金沢健蔵、柴久美子、藍原寧、大谷義彦、安藤肇、【高11】匿名希望、西川かおり、續肇彦、今村末里子、山上祥子、【高12】宮田清蔵、阪本桂造、中沢勲、海野徹也、川原範雄、飯沼光子、和島実、【高13】高津幸一、櫻井正昭、関直樹、丸山素子、田中昇次、小松富貴子、小浜佐紀子、高野尚志、安達宏鎮、中本攻、高田勲、【高14】長谷正道、大串康夫、添田禮子、野村みや子、國谷俊之、布施百合子、早川希尹子、【高15】村上広、久保田繁、速水洋志、桑名晏子、保科欽司、渡辺浩通、天竺智雄、前久保博士、【高16】宮田誠、橋元宏、中里貴久子、【高17】川上博司、松島和幸、千葉クミ、稲田和子、能美卓爾、堀江悠子、【高18】酒井陽三、菅原園枝、寺島孝、宮田健治、富井利尚、【高19】匿名希望、杉田時男、小山雅文、田村明子、水野国雄、匿名希望、【高20】内藤秀樹、井上秀子、外島裕、有馬保生、中川恵、山川長生、尾崎彰夫、乃美和夫、田中憲太郎、山口達夫、登坂薫、関屋収、岡田重道、Gresswell紀代子、入田哲郎、【高21】林賢二、上田豊、藤原保雄、田邊夏樹、高橋衣子、菊地洋、【高22】山田豊、神田幸人、岡安則、山之内裕、伴辰也、石田正一、【高23】萩原正俊、後藤洋子、金子優子、清水達朗、井上修、【高24】磯村由紀子、松浦誠一、杉本幸枝、【高25】伊藤攻、宇多正行、

吉富正尚、吉田寛、高橋徹、佐野恭子、永井宏、【高26】平野弘道、山本晃、小林泰子、上原正美、【高27】大久保高秀、牛山裕光、小林壮一、横島晃、【高28】清水由里、内島寛之、清水義裕、山口恭正、島田健二、【高29】笠浩一郎、宮崎恵美、古井戸宏、【高30】大坪由佳、秋吉英和、大島寛治、山本孝文、【高31】竹中文字子、穂積森恵、太田悦子、矢崎千枝、大山洋、高田淳子、関島勝巳、【高32】永良高二、【高33】内田雄三、【高35】匿名希望、佐藤雅一、沼田洋一、湯浅幸子、【高36】伊与部智子、【高38】横田透、【高40】嗣永典子、伊藤勲、【高42】森山法人、【高43】伊藤志珠、【高45】渋谷豊一、【高68】宮嶋直輝

広告に御協力いただいた方(敬称略)

高18期	築根 吉彦	(築根クリニック)
高26期	田中 英一	(田中歯科クリニック)
高50期	植村 直人	(株)ウェブプロジェクト
	神崎 隆馬	(神崎建設株式会社)

■ 年会費の銀行振込による納金も可能です。

(注) 振込先銀行・口座が変わっています。ご注意ください!

○振込先

巢鴨信用金庫 東武練馬支店 普通口座
口座番号 No.3228965

「大泉高校同窓会いずみ会会計部長山本孝文」

○振込者名

(例) K300817 オオイズミ タロウ

必ずお名前の前にIDをつけてください。

○振込手数料はご負担願います。

■ 「会報いずみ」送付について

令和3年度(2021年度)から、会報の送付対象会員は以下のように設定されています。基本の条件は一度でもいずみ会会費納入・寄付をされた方となります。(これから納入される方は次年度から送付対象となります) 周りの方から「会報が来ない」と話があった場合にもこの条件をご説明いただき、会費納入を促していただけるとありがたいです。一人でも多くの方に「会報いずみ」が届きますようにご協力よろしくお願いいたします。

会報送付対象会員

- ① 翌年度総会担当の期 … 全員(2022年度は「1」のつく期)
- ② 中1期～高13期 … 全員
- ③ 高14期～高63期 … 会費納入、寄付の実績のある方(一度でも)
- ④ 高64期～高74期 … 全員(会費納入対象年度に達していないため)

田中歯科クリニック 小児歯科

院長 田中 英一
歯学博士

〒165-0022 東京都中野区江古田4-2-3
PHONE 03-5380-3640

ものづくりをひとつ「ウエ」のステージへご案内する技術士事務所



ウェブプロジェクト

業務内容

- 設計業務改善支援
- 新製品開発支援
- 技術継承支援
- 技術者育成支援

モノづくりに関する問題点、一緒になって解決しましょう!

株式会社ウェブプロジェクト

代表取締役 技術士(機械部門) 植村 直人(高校50期)

詳しくは「ウェブプロジェクト」で検索!

ウェブプロジェクト 検索

声

★池上彰氏が同窓とは知りませんでした(中3期) ★毎号楽しみに拝見、各位のご努力に深謝(高3期・高27期・高64期他多数) ★母校、緑蔭、HP特に海外からの近況報告は面白かった(高3期) ★会報で大泉とつながっています。同期の情報はうれしい(高7期) ★当時の学内、三宝寺池を下に見ての通学路等、懐かしい思い出がよみ返って来ます(高9期) ★大泉合同チーム甲子園予選を宇山さんと応援、敗戦残念!(高9期) ★卒業60年、在校時をとて懐かしき思い出します感謝(高12期) ★最後の同期会開催は再延長との案内、来年が楽しみです(高12期) ★同窓会開催日を待ちます(高15期) ★いずみ会が続いて本当に素晴らしい(高15期) ★旧友再会・継続は力なり、会報楽しみ(高16期) ★記事、写真、興味深く充実して感心しました(高16期) ★初めて連絡します、会報楽しみです(高20期) ★「こんな1年でした」楽しく読みました(高21期) ★職業講話と紙上講話が面白かった。特に同期池上彰さんと20期宇山秀明さんの話が興味深かった(高21期) ★会報を読むたび大泉卒業でよかったと思います。最近の仕事(?)は働きながら子育てする娘の支援です(高22期) ★兵庫県在住、会報が貴重な情報源。同期の植栗機会は今年開催中止再開が楽しみ(高23期) ★会報で今の母校の様子を知り楽しみ。同期会開催あ

れば初参加したい(高24期) ★同期クラブOBの仲間とコンタクトしたい(高29期) ★中学からの募集のみ少しさびしさが…様々な人に出会えた都立の良さと大泉らしさで新しい時代へと進んで欲しい(高31期) ★読み応えがあり楽しみです。池上氏が度々母校で講演を初めて知りました(高34期) ★楽しく懐かしき拝見、愛知から母校の発展分り嬉しい(高35期) ★池上さん玖保さんメッセージはやはり興味を惹きます(高36期) ★いつも会の活動ありがとうございます。年会費9年分を振り込みました。引き続き納入していきます(高45期) ★コロナ前にはキャリア講話や英語授業などに参加できました。また協力できることがあればご連絡ください(高46期) ★会長の「つながっていること!」に興味を持ちました。皆に会いたいです(高56期) ★楽しく拝読させていただいております。数理専門職の候補生として働いております(高65期) ★若い力として、何か協力できればと思い、ハガキを送らせていただきます(高68期) ★会報は楽しみ。HPでも構いませんが、紙面でほしいです。「こんな一年でした」興味持った記事でした。家族との話のネタにもなっております(高72期) ★在学中は探究活動にOBの皆様からご支援を頂きました。私もいつか母校に恩返しを、頑張ります(高73期) ★黒ひげドクターの話は良かった。65号は私を勇気づけてくれました(旧教員・数学)

皆様から寄せられた“声”の一部です。紙面の都合上掲載できなかった“声”はいずみ会HPにて紹介させていただきます。

追悼 ご冥福をお祈りいたします

■先生方(敬称略)

教科	現姓	逝去
社 会	滝沢 順	2021. 1. 29
英 語	尾造 保高	2020. 3. 27
英 語	廣瀬 和清	2022. 7. 23

■会員訃報(敬称略)

期	現姓	逝去
中学1期	春日 孟	2022. 1. 15
中学2期	坪川 嘉彦	1977. 9
中学2期	丸茂 勘次	2020. 3. 24
中学3期	田中 重信	2021. 8. 26
高校5期	涛川 欣一	2022. 1. 14
高校6期	鈴木 和朗	2022. 2. 15
高校6期	高橋 昂(つとむ)	2022. 1. 6
高校6期	森 幹雄	2021. 11
高校6期	加藤 清	2020. 12
高校6期	豊嶋 志朗	2021. 7. 10
高校6期	日比野 弘	2021. 11. 14
高校7期	上田 雅弘	2021. 3. 12
高校8期	久保 とし恵	2021. 5. 14
高校8期	梶間 護	2021. 4. 5
高校9期	富永 幸雄	2020. 7. 5
高校9期	粕谷 義久	2020. 10. 5
高校9期	平岡(飯坂) 静子	2021. 7. 27

高校10期	西島(高澤) 耀子	2019. 11
高校11期	加藤 勇	2020. 8. 31
高校13期	脇坂 嘉紀	2022. 8. 12
高校14期	神山 亮友	2022. 3. 7
高校14期	丹治 靖之	2021. 9
高校14期	宮本 孝夫	2021. 10. 15
高校14期	三井 通安	2020. 9. 7
高校14期	神崎 隆洋	2021. 9. 4
高校16期	川井田(齊藤) 和子	2021. 8. 21
高校18期	曾谷 悦子	2022. 3. 26
高校18期	橋本 ゆり	2021. 6
高校18期	酒見 裕雄	2021. 7
高校19期	宮崎 幸夫	2021. 9. 5
高校20期	小田川 有治	2021
高校20期	長谷川 章	2022. 7. 13
高校21期	望月 有人	2022. 7. 13
高校22期	後藤(田中) 三千代	2021. 6. 26
高校22期	平井 秀明	2022. 1. 28
高校26期	山本 勉	2019. 3. 21
高校28期	口石(内藤) 清美	2022. 6. 2
高校30期	水越 幸治	2022. 4. 28
高校30期	中川 誠一	2021. 10. 15
高校32期	仲澤 浩一	2021. 10. 15
高校39期	東福寺 浩太	2022. 3. 20

人材バンク登録のお願い

いずみ会では学校からの依頼を受け、職業講話に講師を派遣しています。皆さまの経験と知識を後輩のためにお役立ていただき、後輩との交流を体験してみませんか？同時に会員相互の活動にもご協力をいただけるようお願いします。ご協力いただける方は、同封の返信ハガキ裏面に詳細をご記入いただきお申し込みください。後日人材バンク部よりご連絡を差し上げます。(6、7面にキャリア教育活動の様子を掲載しています。)

不要ないずみ会名簿について

いずみ会名簿は個人情報ですので不要になった場合の処分に際しては細心の注意を払うようにお願いします。いずみ会では、下記の方法による返却も受け付けていますのでご活用ください。

- * 評議員会・総会へご持参ください
- * 宅配便・着払いにて下記へ送付ください
〒179-0076 練馬区土支田3-43-7
山川 新(会員情報部長)

総務・企画部より

●同期会を開きましょう！

「あの頃みんなはどうしているのだろうか？」と頭の隅に思いがよぎったら、それはチャンス！一度集まってみませんか？20年前、30年前、40年前の顔ぶれが揃えば、今また新たなつながりを生み出すこと必至です。最初の一步を踏み出す人になるのは勇気がいることかもしれませんが、仲間数人からでも、是非トライしてみてください！！

いずみ会では、同期会開催に際して以下のお手伝いをさせていただきます。

- ①宛名ラベルの作成、②名札作成、③名札ケース貸与、④同期会開催の会報・HPでのお知らせ、⑤校歌・校友の歌音源貸与

また、初めて開催される期には、ご案内の郵送費の一部を負担するサービスもあります。同期会幹事の皆様、開催を検討される際には是非いずみ会窓口までご相談ください！

●来年は「1」の会

来年令和5年度の文化祭、ホームカミングデー、総会後の懇親会の企画実行を「1」の会の皆さま(1・11・21・31・41・51・61・71期)にご協力をお願いさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

高14期 同期会開催中止のお知らせ

今年2022年の同期会を中止することにいたしました。来年80歳傘寿の会で皆様と集いお祝いできることを願っています。

代表幹事 布施百合子

い ず み 会 窓 口

〒178-0063 東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号
e-mail: izumikai@v7.com 総務・企画部長 植村 直人(高50期)

- * 会費・寄付⇒会計部
- * HP投稿・掲載⇒HP部
- * 会報投稿⇒会報部
- * 人材バンク登録等⇒人材バンク部
- * 住所変更・逝去連絡・宛名シール希望等⇒会員情報部
- * その他のご質問・ご意見・いずみ会室利用申込⇒総務・企画部



●いずみ会文庫●

皆さまの著作を是非いずみ会文庫にご寄付下さい。皆さまからご寄贈いただいた書籍は、母校図書室「いずみ会文庫」コーナーで後輩たちに閲覧提供されています。いずみ会窓口へご連絡下さい。

ホームページ・会報への投稿のお願い

いずみ会報、ホームページは会員相互の情報交換の場です。会員の皆さんの近況、身近な話題、イベント開催の案内等々、是非お寄せください。多数のご投稿をお待ちしています。

ご投稿は、izumikai@v7.comまで 又はいずみ会ホームページ「いずみ会への連絡」からお願いします。

編 集 後 記

☆ここ数年来のコロナ禍を、会員の皆様が大きく体調を崩されることなくすごされていれば良いなと思います。またそうであることを願っています。60歳以上の高齢者は4回目のワクチン接種が終わっている頃でしょうか。☆本号では幅広い世代の大泉高校の思い出をと思って特集(8-9頁)を組んでみましたが、若い世代の記事がなかなか入手できなかったのが残念でした。しかしながら職業講話(6-7頁)では卒業期50～60期代の若い会員に活躍していただきました。☆1頁にありますように「会員相互の親睦」「母校支援」を柱に今期の活動を進めたいと考えています。☆年齢が上がればあがるほど同世代のありがたさが身に沁みますので是非同期会の開催をご検討下さい。☆会員の皆様が心身共に今後も元気で過ごされることを祈っております。

作った人：金子研一、浜田光、植村久、富井利尚、田邊夏樹、荒井真理子、小倉扶美子、古畑基樹

2022年度いずみ会 総会・交流会のご案内

原点(ゼロ)からの再出発! 新しいいずみ会の起点を担う「0の会」!

ズズズ「原点(ゼロ)からの再出発」ズズズ

と き: 2022年(令和4年)10月29日(土)

ところ: 練馬区立勤労福祉会館 練馬区東大泉5-40-36(大泉学園駅南口より徒歩3分)

受付開始 13:30より

総会・講演会 14:00～15:45

交流会 16:00～17:30

* 時節柄、今回はお茶菓子と軽い飲み物で久しぶりの交流をお楽しみいただくことでお願いします

☆ 出欠その他の連絡事項(ウェブ配信希望等)は同封のハガキ、ホームページより10月15日までにご回答ください

今年度は、コロナ下の3年を経て、3年ぶりにいずみ会総会・懇親会を開催する運びとなりました。校内での諸行事には制約が残る現下、外部施設を使うこと、ウェブ配信(ご自宅でも参加可能)の併用、安全を考慮した懇親会の実施など、工夫を凝らしました。記念講演は、40期でインテリアデザイナーとしてご活躍中の香取美智子さんをお願いしております。

スローガンを「原点(ゼロ)からの再出発」としました。

この間、コロナに加え、ウクライナへのロシアの侵攻、経済の変調等、地球を取り巻く環境は決して良くありません。一方で、DX、AI、新エネルギー等、未来に希望を生み出す新しい科学技術の発展もめざましいものがあります。ピンチをチャンスに! 平和でサステナブル社会の実現へ!

近未来の主角を担う現役の大泉中・高校生へエールを贈りながら、いずみ会メンバーも、新たないずみ会の再出発を図りましょう。「0の会」はその起点を担わせていただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

「0の会」会長 関屋 収 (高20期)

いずみ会会長 荒井 眞理子 (高20期)

高校73期卒業の皆さん!!

令和5年に成人式を迎えられる高73期ご卒業の皆さん、少々早めですがおめでとうございます。大泉高校を卒業されて2年振りに集う会を、例年通り学校・PTA・いずみ会が応援をさせていただきます。開催の詳細については73期幹事より連絡があります。年末までには、コロナ感染も収まっているでしょう。楽しい会ができますように!

「71期の皆様へ」

2年前「2021年1月11日」を楽しみに準備を進め、1週間前からの体温記録もつけて万全の対策で迎えようとした「新成人の集い」は緊急事態宣言が出されて中止となってしまいました。とても残念、悔しかったですね。そこで今すぐとは申しませんが、コロナが落ち着いて、皆さんご自身も日々の生活に少し時間の余裕ができてきたところに「新成人の集い」に代わる71期の会を改めて企画してみましょう! いずみ会はいつでもバックアップの体制を整えて待っています。遠慮なくご相談ください!